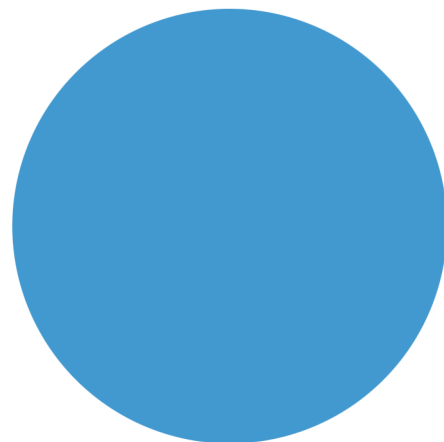


イベリア半島の公用語

と

日本文学の翻訳市場



登壇者

ガブリエル・アルバレス・マルティネス氏



日本文学のスペイン語翻訳家
日本文化普及の功績が認められ
令和4年度外務大臣表彰を受賞
2014年に国際文化学研究科
前期課程修了後、ビーゴ大学
(スペイン)で博士号取得
スペイン在住

講演者は村上春樹をはじめとする数多くの日本文学作品をスペイン語に翻訳しているが、実はスペイン語だけではなく、スペイン北西端の自治州ガリシアの言語であるガリシア語にも翻訳している。スペインには他にもカタルーニャ語やバスク語などが使用されているが、イベリア半島の公用語の状況はどうなっているのだろうか。そして、翻訳された日本文学の市場は？純文学以外にも絵本やマンガの翻訳も手掛ける講演者自身の経験に基づき、スペインにおける小説とマンガ等の翻訳業界について自在に語っていただく。

日時

15 10
時 月
10 29
分 日 (火)
16 時
40 分

会場

神戸大学鶴甲第1キャンパス
B313